

令和7年度 北山高等学校 音楽科 年間指導計画

校長印		教頭印		指導者氏名	
科目	音楽 I	単位	2	学年	1
				普通科	
				使用教科書	MUSA 1 (教育芸術社)

目的 目標	① 歌唱および楽器の基本的な奏法や楽曲の内容について理解するとともに、創意工夫をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	② 自己のイメージをもって音楽を表現したり、音楽のよさを味わいながら聴いたことを音や言葉で表現したり伝え合ったりする力を養う。
	③ 音楽を表現する喜びや他者と合わせて演奏する楽しさを味わう活動を通して、主体的に音楽を探究する意欲や他者と協働して物事に取り組む態度を養う。

学期	月	題材名	主な教材	題材の評価規準例		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	4 5	【歌唱】曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	校歌 夢の世界を (Ave Maria) 「ヴォイス・ト レーニング」	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表して いる。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもってい る。	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的 に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	6	【器楽】郷土の音楽に親しみ、演奏に挑戦しよう (三線)	ていんさぐぬ花 安波節 安里屋ユンタ	・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文 化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考 え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・ 曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表 現に関心をもち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとし ている。
2 学期	7 9	【楽典】音の長さやリズム 【楽典】音名 【器楽】リズムや音名を理解してJ-POPや歌謡曲 を演奏しよう(キーボード)	楽典：音符と休符 楽典：音名 J-POP 歌謡曲	・ 演奏のために必要な基本的な知識を身に付けている。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、身体の使い方な どの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けてい る。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表して いる。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とキーボードの奏法との関わりに関心をもち、主体的・協動的 に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	10	【歌唱】曲にふさわしい発声で歌おう(イタリア語 に挑戦!!)	歌謡曲 O sole mio	・ 曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりについて理解してい る。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する 技能を身に付け、器楽で表している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体 的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	11	【器楽】擦弦楽器に挑戦しよう(ヴァイオリン) 【楽典】反復記号 【楽典】音程	基礎練習テキスト(音階練習・ボ ウイング) カノン 楽典：反復記号 楽典：音程	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協動 的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
3 学期	12	【器楽】表現を工夫して演奏しよう(ギター) 【楽典】和音(コード 三和音のみ)	簡単な単旋律の練習曲 日曜日よりの使者 楽典：和音	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協動 的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	1	【歌唱】思いを込めて表現意図を持って歌おう	卒業式の歌	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表して いる。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的 に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	2	【鑑賞】音楽の要素とイメージをつなげよう	ジョーズのテーマ 等	・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴につ いて理解している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴に関 心をもち、主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとし ている。
	3	【創作】音楽の要素とイメージをつなげよう		・ 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上 の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対 照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表して いる。	・ 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それら の働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりにつ いて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっ ている。	・ 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上 の特徴に関心をもち、主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もう としている。

# 令和7年度 北山高等学校音楽科 年間指導計画（保育と音楽:3学年普通科）

保育と音楽の評価の観点		校長	教頭
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
観 点	歌唱および器楽の効果的な奏法や、楽曲の内容および背景について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かして演奏するために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるようにする。	音楽を表現する喜びや、他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、他者と協働して物事に取り組む態度を養い、人生や社会を明るく豊かにする姿勢を身に付ける。

期	月	題 材	学習のねらい	教材
一 学 期	4	オリエンテーション	・歌う楽しさを感じ取らせる。	幼児・児童向けのうたから数曲選曲
		響のある声で歌おう	・歌詞及び曲想の把握と表現の工夫。	こどものばいえる 上巻(音楽之友社)より
	5	キーボード実習①	・弾き語りに必要な能力を養うため、基本的な指の動かし方を身に付ける。	保育検定の過去問題集から数曲抜粋
	6	保育検定取得に向けて キーボード実習②	・全員での取得を目指し、保育者としての基礎知識を検定取得から学ぶ。	全訳バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)より
	7	童謡	・様々な童謡を覚えて歌えるようにする	こどものうた200(チャイルド本社)より
			実技試験	・1学期で学習した曲を中心に、歌唱およびキーボードの実技試験を行う。
二 学 期		手遊びうた	・様々な手遊びうたを覚えて歌えるようにする	こどものうた200(チャイルド本社)より
		楽典(コードとは)	・コードの知識を身に付け、伴奏に必要な能力を高める。	楽典より抜粋
	9	キーボード実習③	・コードを覚え、コードを見ながら簡単な伴奏ができるようにする。	やさしく弾ける！保育のピアノ伴奏(池田書店)
	10	保育園訪問演習に向けた取り組み	・指導計画を立てる。 ・必要な実技を習得する。	実習先の保育園と連携しながら、取り組む曲を決めていく。
	11	保育園訪問演習	・協同して幼児とのふれ合い体験に取り組む。	実習先の保育園と連携し、保育実習を行う。
	12	キーボード実習④	・コードによる伴奏をしながら、童謡を弾き歌いできるようにする	こどものうた200(チャイルド本社)より
			実技試験	・2学期で学習した曲を中心に、歌唱およびキーボードの実技試験を行う。
三 学 期	1	キーボード実習④	・コードによる伴奏をしながら、童謡を弾き歌いできるようにする	こどものうた200(チャイルド本社)より
	2	1年間のふりかえり	・1年間の取り組みをふりかえり、成長を実感する。	

# 令和7年度 北山高等学校音楽科 年間指導計画（総合音楽:3学年普通科）

総合音楽の評価の観点		校長	教頭	
	①知識・技能	②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度
観点	歌唱および器楽の効果的な奏法や、楽曲の内容および背景について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かして演奏するために必要な技能を身に付ける。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるようにする。		音楽を表現する喜びや、他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、他者と協働して物事に取り組む態度を養い、人生や社会を明るく豊かにする姿勢を身に付ける。

期	月	題 材	学習のねらい	教材
一 学 期	4	響く声で歌おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な歌唱法を身に付ける</li> <li>・歌う楽しさを感じ取らせる。</li> <li>・歌詞及び曲想の把握と表現の工夫。</li> </ul>	校歌 夢の世界を
	5	協力してアンサンブルを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの音を聴き合い、合奏する。</li> <li>・協力して曲を仕上げるする。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
	6			
	7	実技試験（発表会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期で学習した曲を中心に、器楽アンサンブルの実技試験を行う。</li> <li>・1学期で学習した成果をふりかえり、2学期へ繋ぐ。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
二 学 期	9	協力してアンサンブルを仕上げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの音を聴き合い、合奏する。</li> <li>・協力して曲を仕上げるする。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
	10			
		11	実技試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期で学習した曲を中心に、器楽アンサンブルの実技試験を行う。</li> <li>・2学期で学習した成果をふりかえり、3学期へ繋ぐ。</li> </ul>
	12			
三 学 期	1	MUSIC CONCERTに向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表に向けて各自練習を行う。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
	2	MUSIC CONCERT	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の成果を発表する。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
		年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間のふりかえりを行い、卒業後の人生に繋げる。</li> </ul>	

令和7年度 北山高等学校 音楽科 年間指導計画

校長印		教頭印		指導者氏名	
科目	音楽 I	単位	2	学年	1
				普通科	
				使用教科書	MUSA 1 (教育芸術社)

目的 目標	① 歌唱および楽器の基本的な奏法や楽曲の内容について理解するとともに、創意工夫をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	② 自己のイメージをもって音楽を表現したり、音楽のよさを味わいながら聴いたことを音や言葉で表現したり伝え合ったりする力を養う。
	③ 音楽を表現する喜びや他者と合わせて演奏する楽しさを味わう活動を通して、主体的に音楽を探究する意欲や他者と協働して物事に取り組む態度を養う。

学期	月	題材名	主な教材	題材の評価規準例		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	4 5	【歌唱】曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	校歌 夢の世界を (Ave Maria) 「ヴォイス・ト レーニング」	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表して いる。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもってい る。	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的 に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	6	【器楽】郷土の音楽に親しみ、演奏に挑戦しよう (三線)	ていんさぐぬ花 安波節 安里屋ユンタ	・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文 化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考 え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・ 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び楽器を使った様々な表 現に関心をもち、主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとし ている。
2 学期	7 9	【楽典】音の長さやリズム 【楽典】音名 【器楽】リズムや音名を理解してJ-POPや歌謡曲 を演奏しよう(キーボード)	楽典：音符と休符 楽典：音名 J-POP 歌謡曲	・ 演奏のために必要な基本的な知識を身に付けている。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、身体の使い方な どの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けてい る。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表して いる。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とキーボードの奏法との関わりに関心をもち、主体的・協動的 に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	10	【歌唱】曲にふさわしい発声で歌おう(イタリア語 に挑戦!!)	歌謡曲 O sole mio	・ 曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりについて理解してい る。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する 技能を身に付け、器楽で表している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体 的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	11	【器楽】擦弦楽器に挑戦しよう(ヴァイオリン) 【楽典】反復記号 【楽典】音程	基礎練習テキスト(音階練習・ボ ウイング) カノン 楽典：反復記号 楽典：音程	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協動 的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
3 学期	12	【器楽】表現を工夫して演奏しよう(ギター) 【楽典】和音(コード 三和音のみ)	簡単な単旋律の練習曲 日曜日よりの使者 楽典：和音	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい 奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想とギターの色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協動 的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	1	【歌唱】思いを込めて表現意図を持って歌おう	卒業式の歌	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい 発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表して いる。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっ ている。	・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協動的 に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	2	【鑑賞】音楽の要素とイメージをつなげよう	ジョーズのテーマ 等	・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴につ いて理解している。	・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知 覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの 関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴に関 心をもち、主体的・協動的に鑑賞の学習活動に取り組もうとし ている。
	3	【創作】音楽の要素とイメージをつなげよう		・ 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上 の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対 照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表して いる。	・ 音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それら の働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりにつ いて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっ ている。	・ 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上 の特徴に関心をもち、主体的・協動的に創作の学習活動に取り組もう としている。

# 令和7年度 北山高等学校音楽科 年間指導計画（音楽Ⅲ:3学年普通科）

音楽Ⅲの評価の観点		校長		教頭	
	①知識・技能	②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度	
観点	歌唱および器楽の効果的な奏法や、楽曲の内容および背景について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かして演奏するために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽のよさや美しさを深く味わいながら聴き、音や言葉で表現できるようにする。		音楽を表現する喜びや、他者と一体となって演奏する楽しさを味わう活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、他者と協働して物事に取り組む態度を養い、人生や社会を明るく豊かにする姿勢を身に付ける。	

期	月	題 材	学習のねらい	教材
一学期	4	【歌唱】響く声で歌おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な歌唱法を身に付ける</li> <li>歌う楽しさを感じ取らせる。</li> <li>歌詞及び曲想の把握と表現の工夫。</li> </ul>	校歌 夢の世界を
	5	【器楽】三線(郷土の音楽)	<ul style="list-style-type: none"> <li>工工四を見ながら(手元を見ずに)演奏する</li> <li>自己存在感を高め、郷土愛を育む。</li> </ul>	任意の楽曲
	6	【楽典】リズムと拍子・音程・和音		
	7	【器楽】キーボード①	<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵盤楽器の基本的な奏法を身に付ける。</li> <li>鍵盤楽器の複雑さや楽しさを味わう。</li> </ul>	任意の楽曲
二学期	9	【器楽】キーボード②	<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵盤楽器の基本的な奏法を身に付ける。</li> <li>コードを演奏する力を付ける。</li> </ul>	任意の楽曲
	10	【器楽】ギター	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギターの基本的な奏法を身に付ける。</li> <li>旋律とコードの演奏、両方ができるようになる。</li> </ul>	簡単な単旋律の練習曲 任意の楽曲
	11	【器楽】協力してアンサンブルを仕上げよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの音を聴き合い、合奏する。</li> <li>協力して曲を仕上げる。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
三学期	1	MUSIC CONCERTに向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表に向けて各自練習を行う。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲
	2	MUSIC CONCERT 年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の成果を発表する。</li> <li>年間のふりかえりを行い、卒業後の人生に繋げる。</li> </ul>	任意の楽器 任意の楽曲